

「つながる・支え合い」 たより



生活支援コーディネーターの活動から

地域で「つなぐ・つながる」②④



(写真上) 簾(すだれ)に絡まる朝顔を表現した作品と一緒に。/(写真右) 習字の様子ですが、清書の前にしっかりと練習していらっしゃいます。

令和五年五月、新型コロナウイルスが第5類になったことをきっかけに、午前十時から正午までと縮小していた運営時間が午後二時までの拡大となりました。
活動内容は習字や折り紙を使った作品作り、軽体操や軽スポーツ、脳トレに

▼おらほのサロン ふれあいホームこがらせ園

『ふれあいホームこがらせ園』は、土淵町社会福祉協議会が主体となって毎月第二・四木曜日に、土淵地区センターで行われています。地域の高齢者の孤独感を解消し、心身ともに健康で生きがいのある生活にすることを目的としています。
講話等、頭の前から足の先までフル活用するものが多岐に渡ります。また、こがらせ園は、運営委員のほかに、ボランティアが運営に加わり、創意工夫を凝らし、安全に、楽しく運営しています。



また、「地域の相談員」として、様々な交流の場に顔を出し、相談も含めてどんなことでも声をかけてもらえるような存在になるよう努めていきたいです。

▼楽しく続けられるような サポートをしています

こがらせ園は、土淵町の高齢者の生き生きとした生活を支える役割を持っていると日々、感じています。私は、丸ごと相談員として、地域の主体性を尊重しながら、無理なく楽しく続けられるように住み慣れた地域での支え合い活動をサポートしていきたいと思

「自分たちの元気」が「地域の元気」に！

丸ごと相談員土淵地区 菊池 巴



ふうせんバレーボール 大盛況！ FUUSEN VolleyBall

こがらせ園で行われた活動の中でも、初夏に行った風船バレーボールは大きな盛り上がりを見せました。やり方は簡単で、椅子に座ったまま円形になり、膨らませた風船を地面に落とさないように打ち合います。手は勿論、足や頭など全身を使った風船の打ち合いが20~30分続きます。参加された方々は、休憩するのも忘れて、「もうちょっと!」「あと一回!」と夢中になって楽しんでいる様子でした。



地域のコト…

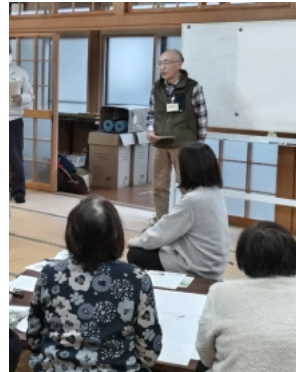
みんなで話し合ってみましょう

～ワークショップ（小地域ケア会議）編～



▼事例1（地域の困りごと）

〇〇町のある地域では、地域見守り隊を対象に地域の見守りが必要な人の情報を共有してみました。普段それとなく知っていても、実際に顔を合わせる機会がないという声もあり、地域見守り隊に加えて介護サービス事業所の職員さんに入っていた一続きに地図を広げてみました。



地域見守り隊の活動の紹介する自治会長さん

地域の集まりや隣近所同士のお話の中で、なかなか解決しない困りごと（課題）に遭遇することはありませんか。今回のこのコーナーでは、ワークショップを通じて地域の自発的な課題解決の働きかけを行っている事例を紹介します。自分たちの地域のことは自分たちで考える「我がごと」の意識で地域の中で話し合うことは大切なことであり、その「我がごと」に丸ごと相談員がお手伝いできることがあります。

※なお、ワークショップの名称を「小地域ケア会議」とも呼ぶことがあります。

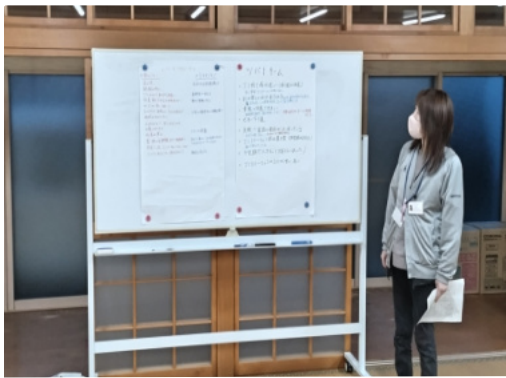
課題として出されたものは、「ゴミ捨て場が遠い」、「ゴミステーションのふたが重い」、「買い物の足が無い」、「街灯を立ててもらえないか」、「置き雪があつて困っている」、「雨で近所の水路の水かさが上がる」とあふれる恐れがあり心配」などがあがりました。



地域の方々から情報をいただき、地図上に落とし込んでいきます。

開催後は、「実際に地区に入っている関係機関の人からの話が聞けてよかった」、「顔が分かるって大事な」という声もあり、併せて地域の困りごとについても共有することができました。

課題の中で自治会や地域見守り隊でできることについては、継続して話題にしながら具体的な取り組みにつなげていくようにしたいとのことでした。また、課題の一部は、地区センターで持ち帰っていただきました。



ワークショップのなかで出された課題を参加者と共有していきます。

▼事例2（動物飼育について）

□□町のある地域では、ネコについて考えてみました。実際、野良猫と思われるネコが、地域の中で畑を荒らしたり、勝手に家の中に入りたりしていて「迷惑」と思っている人がいました。そこで、この小地域ケア会議では、ネコの特性を知り、普段から気にかけておくことやできることなどを考えることとしました。目指すところは、「ネコについて学び、安心して一緒に過ごせる地域にする」です。

まずは、「見える化」をします。各家庭で飼っているネコのほか、ネコを見かけたポイントなどを地図上に落とし込んでいきます。畑を荒らしたりするネコは、どうやら野良猫か飼いネコかどうか分からないネコのようです。また、山奥でネコを捨てに来る町外の人がいるのではないかとこの情報も耳にしました。

（次ページへ）



「見える化」するために、地図を作ってそこに書き込む作業を行っています。

地図上に落とし込んだ後、中部保健所の獣医師さんから多頭飼育を防ぐ対策についてお話をいただきました。「飼うなら責任をもって最後まで」、「周辺に迷惑をかけない」、「管理できる数を超えないようにする」など心構えをもって飼育してほしいとのこと。また、この地域ではきちんと管理されている世帯がほとんどでしたが、獣医師さんからは外にいる野良猫に対しては、餌をやるならば自分で飼うことを考えてほしいとのことでした。かわいそうだからと餌を与え、良いことをしたと思っても周囲に迷惑をかけることにもつながりかねないということでした。



多頭飼育を防ぐために飼い主意識を高めるために、中部保健所の獣医師さん

参加者からは、学んだこと、気づいたことなどがあり、もっと他の地域にも広げてみてはという意見もいただきました。



▼二つの事例から・・・

この二つのワークショップ（小地域ケア会議）の開催については、実際に地域の方々へ丸ごと相談員が働きかけを行っています。地図など必要な物品は相談員が用意しています。

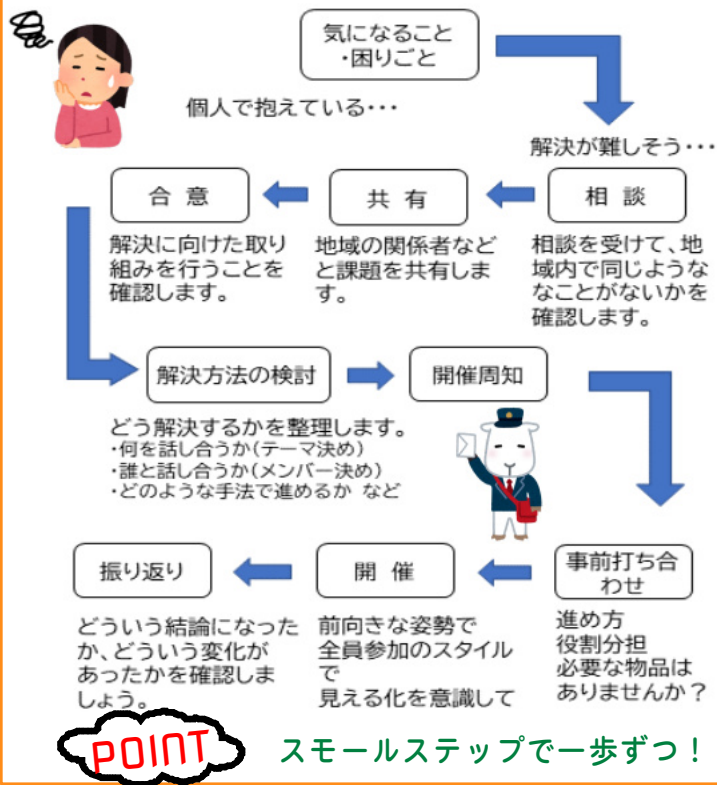
また、どちらのワークショップでも、結果的に一回で課題を解決するに至りませんでした。しかしながら、少しずつ課題が整理されているはずですから、次回ではより具体的な話し合いが可能になります。そして、回を重ねていくことで、実際に自分たちで取り組む方法を考えた

り、あるいは、関係する機関に提言や、要望するという具体的なアクションに発展することになります。

困りごとや気になることをテーマとして、ワークショップを活用して、解決の糸口をさぐってみてはいかがでしょうか。地域で起きていることは、地域の方々が一番よく知っていると思いますので、まずは、その情報を関係者間を交えて共有してみましよう。

丸ごと相談員は地域での課題解決に向けた話し合いの提案を地域のみなさんとしています。

ワークショップ取組みの流れ（例）



令和5年度

丸ごと相談員（生活支援コーディネーター）事業報告会



皆さんの地域の丸ごと相談員が1年間の活動報告を行います。どなたでもお気軽にご参加ください！

- 日時 令和6年3月15日（金）
午後1時30分から
- 会場 福祉の里 研修ホール

◇お問い合わせ先

地域包括支援センター ☎0198-62-5112
健康福祉の里 福祉課 ☎0198-68-3191



丸ごと相談員

見つけた!

— 遠野西中学校区編 —

地域のお宝



日々の生活の中の当たり前の支え合いや行事・習慣などを、私たちの「我がごと・丸ごと目線」で『地域のお宝』として紹介しています。

『先人たちの築いた財産を後世に』

【小友町】

小友町の歴史や民俗文化等に関心のある人たちが積極的に参加し、神社・仏閣や史跡名勝、古くからある路傍の石等を探訪するとともに調査・研究を行いその結果を残すことによって、小友町の地域づくりに寄与することを目的としています。

先人たちが大切に守り続け時代が変わろうとしている現代（いま）、後世へ伝える新たな仲間「小友探訪会」が再始動します。



『我が家のアイドルに癒されて』

【宮守町】

宮守町宮守地区に、地域の高齢者が集まる家があります。ここはかつて診療所で、様々な人が集まってくる賑やかな場所であったと家主の方が聞かせてくれました。現在は、普通の民家でありながら、時折皆で集まってお茶を飲みながら、折り紙やトランプをしたり、地域の情報交換をする場になっています。また、この家にはアイドル猫（雄）がいて、訪れる方への挨拶は欠かさず、愛嬌たっぷりの仕草を見せる『癒しの存在』となっています。

この地区は、お互いに安否や体調の確認をしているなど、住民同士の交流と気かけ合いが活発な地区です。

